

令和4年度 設備・技術サポート推進室

学生セミマイスター訓練生（技術補佐員）公募要領

令和4年9月1日
自然生命科学研究支援センター
設備・技術サポート推進室

設備・技術サポート推進室では、平成28年度より「本学研究設備の効率的な充実化と共同利用等による有効利用の促進」のための諸活動を行っています。本事業の一環として、設備の操作等に熟練した学生スタッフを育成し、共同利用研究設備を取り扱う技術支援の高度化を図ることを目的に「学生マイスター制度」の確立を目指しています。

本制度では、まず、本学大学院への進学が決まっている学部学生を対象として「学生セミマイスター訓練生（技術補佐員）」を公募いたします。

採用後は、学部卒業までの期間に、担当する共同利用研究設備の操作や分析技術を習得していただきます。訓練修了時に、設備の操作等に習熟した「学生セミマイスター」として認定します。学生セミマイスターとして、大学院博士前期課程期間中に該当設備の技術的支援の業務に従事していただくとともに、次期セミマイスターの育成にもあたっていただきます。博士前期課程修了時に設備管理者の推薦があれば、設備の高度な操作等に習熟した「学生マイスター」として認定いたします。

1. 目的

共同利用設備の操作等に熟練し、設備の効率的運用を技術的に支援する学生スタッフ（学生マイスター）の育成を行う。本学の学生に対し、徒弟型教育により学生マイスターとなるための技術訓練を行う。

学生は研究設備の技術支援に従事することで、高度な技術を要する研究用設備の取り扱い技術を身に着けることができる。本学は共同利用設備の技術支援の高度化を図ることとなる。

2. 職種：技術補佐員

3. 勤務場所：岡山大学自然生命科学研究支援センター設備技術サポート推進室 および別表に示す共同利用装置の設置場所

4. 募集人員：7名

5. 雇用期間：令和4年11月1日以降のできるだけ早い日～令和5年3月末日 (学生セミマイスターに認定された者は、大学院修了まで継続雇用の可能性あり)

6. 職務内容

- ・別表に示す共同利用機器の技術支援業務
設備の定期メンテナンス、測定操作、データ分析、サンプル前処理等、担当設備の共同利用促進に必要な技術訓練を受けて習得しつつ、支援を実施する。
- ・訓練期間修了者には「学生セミマイスター認定証」を授与する。
※本認定証は本制度独自のものです。

7. 待遇：

- 1) 勤務時間 雇用期間内に、合計 15～30 時間（週 1 回 3 時間程度）
合計時間は設備の特性に応じて異なります。募集概要の 2 頁以降に各設備の詳細を記載しているので、参照してください。
設備の指導担当者と相談して勤務スケジュールを決定。
月末までに、翌月の勤務日と勤務時間を報告すること。
- 2) 休 暇 国立大学法人岡山大学非常勤職員就業規則等に基づく
- 3) 給 与 時給 910 円
（学内ワークスタディ制度に該当する場合は 950 円）
交通費支給なし
※ワークスタディ制度
令和 4 年度前期に授業料免除を受けた学部学生が対象

8. 応募資格

- ① 令和 5 年度に本学大学院へ進学することが決定している学部学生。
※自然科学研究科・環境生命科学研究科については、フレックス BMD コースの履修者を優先して採用するものとする。
- ② 現在の指導教員および大学院進学後の指導教員の下承を受けること。
- ③ 希望する共同利用設備に関連する学問分野の講義を受講済みで、関連する研究を行っている（進学後に行う予定である）ことが望ましい。

9. 選考方法：書類選考及び担当設備管理者との面接 （面接日時は、後日連絡します。）

10. 応募方法

- 1) 提出書類
 - ① 履歴書（所定様式）学生番号を明記し、写真を貼付したもの 1 部
履歴書様式掲載 URL：
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/society/kyo_syoku_bosyu.html
 - ② 所定の応募書類（申請様式） 1 部
- 2) 応募締切 令和 4 年 9 月 1 2 日（月）正午

3) 提出先 研究協力部研究協力課 (本部棟 1階) 担当: 松本

11. 問合せ先 研究協力部研究協力課 担当: 松本

電話: 086-251-8486 Email: adc7116@adm.okayama-u.ac.jp

12. その他

ご提出いただいた書類により取得する個人情報、選考及び採用手続きを行う目的で使用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。採用に至らなかった方の提出書類は、選考終了後、廃棄します。

学生マイスター制度による単位の認定などはありません。学生マイスター認定証は本制度独自の認定証です。

学生セミマイスター訓練生を募集する共同利用研究設備一覧

①	設備名 部局・設置場所	LC/MS 装置：HPLC-Chip/QTOF 質量分析システム及びイオン トラップ型質量分析装置 (Bruker HCT) 自然生命科学研究支援センター・コラボレーションセン ター棟 3 階 312 号室、自然科学研究科棟 108 号室
管理責任者	自然生命科学研究支援センター分析計測分野・教授・多田宏子	
②	設備名 部局・設置場所	X 線回折装置：RIGAKU・RINT-TTR III 及び RIGAKU・ Smart Lab-Pro 自然生命科学研究支援センター・コラボレーションセン ター棟 2 階 214 号室
管理責任者	自然生命科学研究支援センター分析計測分野・サイテック・コーデ イナー・堀金 和正	
③	設備名 部局・設置場所	赤外表面分析装置 環境理工学部・自然科学研究科棟 3 階 310 号室
管理責任者	環境生命科学学域 (工)・教授・難波 徳郎	
④	設備名 部局・設置場所	3 次元光学プロファイラーシステム Zygo 社製 Newview 7300 自然科学研究科・理学部コラボレーション棟 1 階 101 室
管理責任者	自然科学学域 (工)・教授・大橋一仁	
⑤	設備名 部局・設置場所	SQUID 式磁化測定装置及び CW-ESR 装置 自然科学研究科・コラボレーション棟 309 室
管理責任者	自然科学学域 (理)・准教授・神戸 高志	
⑥	設備名 部局・設置場所	フローサイトメーターGalios (2lasers6colors) 生殖補助医療技術教育研究センター・農学部 3 号館 2 階 3210 号室
管理責任者	環境生命科学学域 (農)・教授・舟橋 弘晃	
⑦	設備名 部局・設置場所	微細ナノ構造解析ユニット： ・微細構造リモート観察システム 1. 走査電子顕微鏡 (SEM) 異分野融合先端研究コア・新技術研究センター 1F 107 室 ・ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-MS) 異分野融合先端研究コア・新技術研究センター 3F 307 室 ・液体クロマトグラフ質量分析システム (LC-MS) 異分野融合先端研究コア・新技術研究センター 3F 307 室 ・熱重量分析-質量分析システム (TG-MS)+示差熱分析 (DTA) 異分野融合先端研究コア・新技術研究センター 3F 307 室
管理責任者	異分野融合先端研究コア・准教授・仁科 勇太	

※各設備の詳細は募集概要の 2 頁以降を参照ください。